



サポートやお ボランティアだより

第84号
2020年3月20日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会
★住所 〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 在宅福祉サービスネットワークセンター内

「しょうがい」ってなんだろう

八尾市障がい者理解啓発シンポジウムが令和2年1月25日(土)に、プリズムホールの小ホールで開かれました。



総合司会を、漫才師^{スパン}「span!」の2人が担当してくださいました。さすがプロ! 大いに盛り上げてくださいました。午後1時半になり幕が開き、車いすダンス「ジェネシスオブエンターテイメント」の方々が息のあった華麗なダンスを披露して、オープニングに花を添えてくださいました。

そして、お待ちかね!! 第1部お笑いトークショー 濱田祐太郎さんの登場です。知っている人は多いと思いますが、2018年のR-1グランプリで優勝された方です。出生時より左目がみえず、右目も明暗がわかる程度ということですが、障がい者としての自らの経験を、自虐的に取り上げるネタで笑いを誘っていました。

漫才師^{スパン}「span!」とのトークは、最高におもしろかったです。目が見えないことも明るく笑いとばし、前向きに生きている姿に感動しました。

少しの休憩があり、その間に福祉施設のブースで、おいしいものを食べたり、サウンドテーブルテニスなどを、楽しんだ人たちもいました。

第2部のオープニングは、ヒップホップダンスで「ラブジャンクス」のみなさんです。ダウン症のある方による、世界初の本格的なエンターテイメントスクールのメンバーによる踊りです。ひとりひとりが、楽しく、キレイの踊りを見せてくれました。なによりも素晴らしいのは、彼ら自

身が楽しんでいてことではないでしょうか! 見ている私たちも、楽しくなりました。

さて第2部は、コーディネーターとパネリストによるパネルディスカッションです。“なんのことかわかりますか?” “みんなで一緒に考えようということですかね?” さて、ひとつの大きな絵が、正面のスクリーンに写し出されました。それは、車イスにのった人と、その前にある階段です。そして、“どちらが障害でしょうか?” という質問です。“人と思う方は赤い紙を、階段と思う方は白い紙を上げて…” という問題が出されました。あなたは、どう思いますか? 結果は白が多く上がりました。パネリストには、濱田さんも参加されていて、『障害とは何か?』という質問に、ズバリ『病気です』と明確に答えておられました。視覚障がい者の濱田さんから、この言葉を聞いて[ハッ]とさせられました。もちろん他の考えもあると思います。もう一度同じ質問がなされた結果、赤が少し増えました。そのあと【私たちの想い】ということで、障がい当事者が夢や希望をステージで語られました。

聞いていて感じた事は、障がい者の方とのふれあいを通して理解を深め、お互いを知ることや、ひとりひとりにあった支援がなされたらと思いました。手話通訳と要約筆記等、また裏方として支えてくださったボランティアのみなさん、ありがとうございました。



あったか雰囲気 『あいあいカフェ』

1月24日(金) 東太子にある高齢者あんしんセンター
りゅうげ『あいあいカフェ』にお邪魔しました。ここは、

- ・認知症の方が主役となる場所
- ・認知症の方を介護しているご家族が支え合う場所
- ・そして、介護に関心がある地域のみなさんが集う場所

だそうです。

室内は広すぎず、手作りの飾りや、優しい色合いの



塗り絵が飾ってあり、アットホームであったかい雰囲気
でした。参加者は十数名で、ボランティアさんも一緒に
仲良くお喋りされていました。

この日は、ゲストが二組来られ、一組は八尾市内の
スーパーの方で宅配サービスについて説明して下さい
ました。もう一組はお着物の女性お二人の踊りで、とて
も盛り上がりました。

その後も、皆で坊主めくりをして笑い合ったり、お抹茶
を点てたり、書き初めでは「友情」「歌」「夢」など素敵
なお習字が並びました。

参加費は飲み物、おやつ代の100円のみで、毎月第
4週金曜日の午後2時から4時まで開催です。次回は
2月28日(金) ギターの弾き語りなので、『一緒に歌うの
が楽しみ』と皆さん仰っていました。地域にこんな場所
がある事を知り、また来たいと思いました。



ありのまま・あるがまま 巡回展 / 2020

市役所の1階のアール・ブリュット巡回展にお邪魔し
ました。

アール・ブリュットというのは加工されていない生(き)
の芸術。伝統や流行、教育などに左右されず、自身の
内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術です。
この活動はフランスで始まりました。八尾市では、2014
年にスタートし、今回は、より身近に作品を感じていただ
きたいと、巡回展を開催しておられます。画材・題材・
描き方を本人が思いのままに描いた作品展を、見てみ
ましょう。

- ※ 地下鉄の路線が、細く短い棒(枕木)を並べて
描かれている作品
- ※ 各鉄道会社の車両番号が並んでいる作品
- ※ 好きなアイドルを描いたのか 女性の姿を描い
ている作品
- ※ 猫の好きな人が描いた作品
- ※ 手をつなぐ多くの人、実に多くの人が色々な表情
で描かれた作品

- ※ 好きな職員を描いた作品
- ※ 元気な筆遣いで書かれた書道作品
- ※ ペニヤ板に焼き付けて描いた作品は、制作に
5ヶ月もかかったそうです。

説明を聞きながら、鑑賞していると、作品に込められ
た作者の気持ちを、垣間見た思いがしました。

皆様も、近くで開催された時には、ご鑑賞を！



広がれボランティアの輪 ⑥3

第43回
河内地区

ろうあ者新年会

in
八尾商工会議所

令和2年1月19日(日) 河内地区の聞こえない人の団体である河内地区聴覚障害者協会主催の「ろうあ者新年会」が開催。毎年、持ち回りで担当し去年は羽曳野市。ここ八尾市での開催は23年ぶり。手話サークル連

絡会や、大阪手話通訳問題研究会などの聞こえる団体の方々も合わせ、総勢116名が参加、またスタッフとしても大活躍！

協会会長の時岡滋樹氏はじめ、来賓の挨拶の後、記念講演がありました。*「目で聴くテレビ」ディレクターの重田千輝(しげたかずき)氏の「ハチャメチャ体験記」。取材先でのハプニングの数々【伊丹空港発なのに関西空港に行った・・・が無事出発できた！】【新幹線への忘れ物は？スーツケース！】等、大きなスクリーンと自身の表現力豊かな手話で会場は大爆笑。

各市からの出し物で楽しんだ後は福引。豪華賞品を射止めた方々の満面の笑みでお開きとなりました。久しぶりの再会を楽しむ人、初参加でドキドキの人、あちらもこちら手話の輪でいっぱいの一日となりました。

*目で聴くテレビ …… 聴覚障害者のために、手話や字幕で伝える番組。専用チューナーが必要。一般には一部ケーブルテレビで視聴可能。

ボランティアの声 ④1

8	1	6
3	5	7
4	9	2

三方陣

私のボランティア活動

SA 八尾・柏原
二葉 登代子

退職後のモットーは「サードエイジはボランティア」とし、シルバーアドバイザー(略称 SA)養成講座に通いました。

同期生等5名が中心となり、平成15年4月に、「SA八尾」がスタートしました。

一方、算数嫌いの高校生が多いので、「おもしろ算数教室」の構想を練りました。「わくわくプラザ」にて平成16年4月にスタートしました。対象は当初、小学校低学年でしたが、「認知症予防のために高齢者も」とSAの仲間の求めで、現在に至っています。

何れの活動も、失敗に気が沈むことも多くありました。反面、楽しく楽しい多くの感動がありました。

・押し花のお手伝いをした時、花の美しさに感動している私の傍で、『これを持って逝きたい』と。

・おもしろ算数教室では、『これを今まで知らなかった損をした』や『頭の錆が落ちた』と。

・折り紙をしている施設で、参加者が事前の準備を買

って出ていただきました。責任者が『この様に喜々として利用を見ることはありません』と。

ボランティア活動では、「してあげてる」のではなく、私の心が満たされています。

この活動は、良き仲間と、家族の理解によるものです。皆さんに感謝です！！



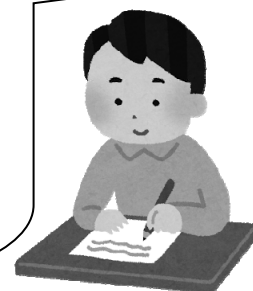
厚生労働大臣表彰を受けた SA 八尾・柏原
(前列左から2人目が二葉氏)

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア保険の更新は お済みですか？

社協ボランティアセンターの登録ボランティアさんが加入している「ボランティア活動保険」は、更新のご連絡がなければ3月31日に補償期間が終了します。手続きはボランティアセンターで行っています。

また、活動中にケガや事故が発生した時は、速やかにボランティアセンターまでご連絡をお願いします。



令和2年度 開催講座(案)

令和2年度は下記の講座を行う予定となっております。

- ふれあいフェスタ
- 夏のボランティア体験プログラム
- 傾聴ボランティア講座
- 精神保健福祉ボランティア講座
- ボランティアお試し講座
- 災害ボランティア講座

開催日や詳細内容は、決まり次第お知らせします。

皆様の参加をお待ちしております。

運転ボランティアさん急募!!

運転ボランティアをしていただける方を急募しています。(年齢は20歳から75歳までの方)是非お手伝いいただける方はボランティアセンターまでお問い合わせをお願いします!

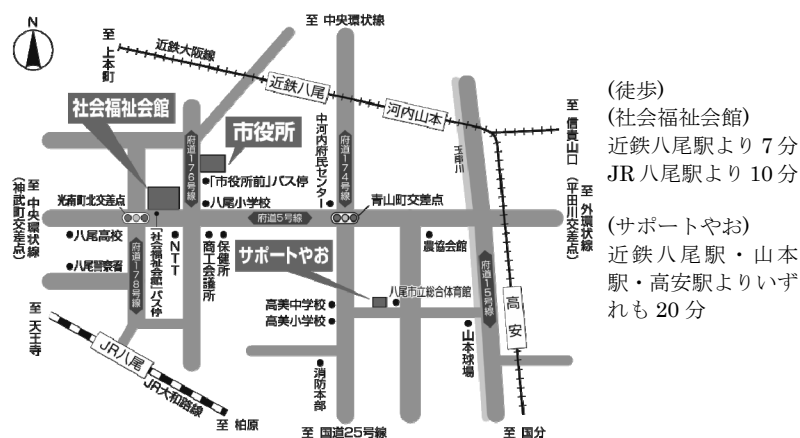


社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581-0018
大阪府八尾市青山町4-4-18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内(サポートやお)

電話:072-925-1045
FAX:072-925-1161
syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp

◇社会福祉会館・サポートやおへの道順◇



編集委員：大下 地恵子、尾崎 光二、二葉 登代子、舘 邦夫、
藤後 聡子、出口 真理子、岡田 千津代、星野 秀代、加藤 由紀江